

SPACC
先端錯体工学研究会

The Society of Pure and Applied Coordination Chemistry

News Letter (April, 2017)



SPACC ニュースレター
(2017年4月号)

目次

1. 新年度を迎えて～会員の皆様へのお願い～
先端錯体工学研究会会長 大阪市立大学 西岡孝訓
 2. 先端錯体工学研究会への入会のすすめ
 3. 第97回 日本化学会春季年会特別企画
「学際新領域の創成に向けた多様な電池技術」を企画して
工学院大学 永井 裕己
 4. 異動報告
関西学院大学 須貝 裕子
奈良女子大学 今仲 庸介
 5. SPACC24のお知らせ、ご支援のお願い
 6. 2017年度 第1回 SPACC ミニシンポジウムのご案内
 7. 今後の行事予定一覧表
- ★ 末尾に、会員が協賛するシンポジウムのプログラムおよび賛助会員からのお知らせを掲載しております。

1. 新年度を迎えて～会員の皆様へのお願い～

日頃から先端錯体工学研究会へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。

4月となって新年度が始まり、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。本研究会は、1992年に基礎錯体工学研究会として発足後、2009年の先端錯体工学研究会への名称変更を経て、今年で25年目を迎えました。この間に23回の国際会議を国内外で開催しております。現在では各大学が国際化に取り組み、また多くの学会で英語での講演を推奨するようになってきましたが、本研究会は長年国際シンポジウムを主催することで、学生や若手研究者の英語での発表機会を作るという役割を担ってきました。昨年11月には、岡山理科大学の赤司治夫先生のお世話で SPACC23 が開催され、多くの研究者や学生にご参加いただきました。今年は、James Wright 教授と Christian Hartinger 教授にお世話いただき、11月にニュージーランドのオークランド大学で SPACC24 が開催される予定です。本研究会の国際シンポジウムは、学生さんにとって経験を積む良い機会です。学生さんも含め、多くの会員の方々にご参加いただき、活発な研究交流の場にしていただきますようご協力よろしくお願い申し上げます。

本研究会は、若手研究者の育成を目的の一つに掲げ活動してきました。実際、近年は学生会員が増加しております。しかしながら若い世代の研究者の会員があまり増えておりません。会員の皆様方には、本研究会の活動を若い研究者の方々に伝えていただき、会員に勧誘していただければ幸いです。昨年には、研究会の広報のためのパンフレットを作成しております。パンフレットがお入り用の方は事務局までお知らせ下さい。また、研究会のホームページにも PDF ファイルとして掲載しております。

また、研究会のさらなる発展のためには、広報活動だけでなく活動内容の充実も大切です。本研究会では、ニュースレターを2か月に1度発行しておりますが、共同研究などの研究交流のきっかけとなるよう、本研究会の研究者による研究紹介をさらに充実させていきたいと考えています。会員の皆様には、是非ご自分のご研究を紹介していただき、会員間の情報交換や研究交流の推進にご利用頂ければと思います。他にも、ミニシンポジウムの開催や日本化学会春季年会における特別企画の立案など、外から見える活動を継続していく必要がございます。なかなか大変な仕事ですが、会員の皆様にご協力頂ければ幸いです。

最後になりましたが、私も会長として研究会の運営と発展に尽力したいと考えております。なにとぞ皆様にお力添え頂けますよう切にお願い申し上げます。

先端錯体工学研究会会長 西岡孝訓

2. 先端錯体工学研究会への入会のすすめ

随時、会員を募集しております。

正会員をご希望の方は年会費3,000円でご入会いただけます。

学生様で入会ご希望の場合、1研究室あたりたったの1,000円で

一括20名様までの入会をしていただけます。指導教員の先生方におかれましては、ご指導の学生さんを、ぜひ学生会員にご推薦ください。

★ 先端錯体工学研究会 (SPACC) にご入会いただくと!!

先端錯体工学研究会 (SPACC) の主催する国際会議、年会にご参加いただけるとともに、学生会員様はポスター賞へご応募いただけます。



(写真) SPACC国際会議の様子

【ご入会手続きの方法】

以下のリンクより研究会ホームページにアクセスできますので、ご入会手続き方法をご確認ください。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

会員の皆様方には、すでに会員係より年会費納入書類が郵送にてお手元に届いていることと存じます。まだ、お手続きのお済でない方は、どうぞお手続きのほど、宜しくお願い申し上げます。

【年会費について】

・個人会員

賛助会員: 50,000円

一般会員: 3,000円

・学生会員 (1口) 1,000円 (1研究室で1口につき20名まで)

・法人会員 (1口)

維持会員: 10万円

一般会員: 2万円

振込先: 先端錯体工学研究会

・振込用紙を用いた郵便振込

00130-7-773549

・銀行からのお振込

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)

〇一九店(店番:019)

当座 0773549

*学生会員の場合: 会費の振り込みの際には、担当教員名か研究室名を、通信欄あるいは振込者名に書き加えて下さい。また、学生会員名簿を事務局(jimukyoku@spacc.gr.jp)までご送付ください。

3. 第 97 回 日本化学会春季年会特別企画

「学際新領域の創成に向けた多様な電池技術」を企画して

工学院大学先進工学部応用物理学科

永井 裕己

e-mail: nagai@cc.kogakuin.ac.jp

第 97 回日本化学会春季年会において三菱電機株式会社・和田昇先生，東京医療保健大学・松村有里子先生とともに特別企画「学際新領域の創成に向けた多様な電池技術」を開催いたしました。日本化学会最終日の日曜日ということもあり，どれほどの人が集まるのか多少不安ではありましたが，常に 50 人以上の聴講者は会場におり，盛況のうちに開催できたのではないかと考えております。

本特別企画においては，下記の講演者にご講演をいただきました。

- ・ エネルギー分野の研究開発動向と国際ベンチマーク (JST CRDS) 島津 博基
- ・ 企業の環境への取り組み (三菱電機先端技術研) 和田 昇
- ・ Electrochemical Energy Storage (シンガポール国立大) Lu Li
- ・ 太陽光発電の現状と今後 (三菱電機) 小島 生正
- ・ 光充電型リチウムイオン電池 -化学と物理の接点- (工学院大先進工) 佐藤 光史

国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センターの島津先生から国内におけるエネルギー分野の研究開発動向と他国のエネルギー分野の政策など幅広いお話しを頂きました。また，企業の目線から環境に対する取り組みを和田先生からご紹介頂きました。



講演者と座長の先生方

これらエネルギー，環境に対する国内外の取り組みを基に，具体的な二次電池に関する解説，太陽電池に関する解説を Lu 先生，小島先生から頂き，これらを融合した取り組みを佐藤先生からご講演頂きました。産官学，国内外や分野間の枠を超える研究者が日本化学会にて議論することで，先端錯体工学研究会員のみならず，日本化学会員に少しでもヒントになるような貢献ができたのであれば幸いです。

最後になりましたが，本企画に携わっていただいた関連の先生・講師の先生，また先端錯体工学研究会の先生方に厚く御礼申し上げます。

4. 異動報告

関西学院大学に赴任して

関西学院大学 理工学部

須貝 祐子

e-mail: yuko-sugai-iwa@kwansei.ac.jp

私は、2016年10月より関西学院大学理工学部環境・応用化学科の学生実験室に教育技術職員として働き始めました。仕事は、学生実験の準備、片付け、実験中に指導とまではいきませんがちょっとしたコツを教えたり、疑問を投げかけたり等、学生実験において教員・学生さんの縁の下の力持ち的な存在です。また、学科内の廃棄物担当、危険物倉庫の管理と多岐にわたります。今、半年が終わり、1期分の学生実験を終えたわけですが、事故がなければ90%は成功の声に支えられ、無事終わったと安堵しております。2017年度からは、週3日の専門実験と週1日の基礎化学実験が行われます。これまでの経験を生かし、学生実験で行う基礎技術は将来的に研究活動を行う上で大事だよと切々と語っていきたいと思っています。これから、1年に100人の学生さんに会うとして、20年もしたら2000人以上の学生さんに会うことになります。その中で、少しでも私から化学に対して何かを感じ取る学生さんがいたら幸せです。そのような人物に近づけるように、日々精進していきたいと思います。

今後とも、よろしく願いいたします。

学位取得と着任のご挨拶

奈良女子大学 理学部

今仲 庸介

e-mail: imanaka@cc.nara-wu.ac.jp

このたび、大阪市立大学大学院後期博士課程を修了し、博士（理学）の学位を取得いたしました。4月からは、奈良女子大学理学部の博士研究員として、研究を続けることになりました。

大阪市立大学では、水中での触媒反応に利用できる錯体触媒の開発をテーマに研究を行ってきました。先端錯体工学研究会では、工学院大学でのSPACC21にてポスター賞を、岡山理科大学でのSPACC23にて学生講演賞を頂き、研究を進める上で大きな励みになりました。また、懇親会などの場を通じて、国内外の先生方や、他大学の学生の方々と交流し、刺激を受けました。SPACCでのこれらの経験は、今の私にとって大きな財産になっています。お世話になりました皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

奈良女子大学では、JST/CRESTプロジェクトの一環として、低級アルカンの酸化反応を目指した研究を、錯体化学の立場から行います。新しい環境のもと、研究に精進する所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

5. SPACC24 のお知らせ、ご支援のお願い

• The 24th International SPACC Symposium (SPACC24)が、2017年11月22日(水)～25日(土)にJames Wright 先生とChristian Hartinger 先生のお世話で、The University of Auckland (ニュージーランド)にて開催されます。奮ってのご参加を、よろしくお願いたします。



上図: Auckland City

24th International SPACC Symposium

第 24 回先端錯体工学研究会国際シンポジウムご支援のお願い

第 24 回先端錯体工学研究会国際シンポジウム開催にあたり、ご支援頂きますようお願い申し上げます。

First Grade Sponsorship 50万円

1. 御社名、貴団体名およびバナーをシンポジウムのホームページに掲載させていただきます。
2. 開催期間中、発表会場近辺に製品展示用ブースを設けさせていただきます。
3. 休憩時間に御社、貴団体をスポンサーとしてコーヒブレイクを行います。その際、スポンサーとして御社名、貴団体名を掲示させていただきます。
4. シンポジウム要旨集に1ページの広告を掲載させていただきます。
5. その他のご要望につきましてはできるだけ対応いたします。

Second Grade Sponsorship 20万円

1. 御社名、貴団体名をシンポジウムのホームページに掲載させていただきます。
2. 休憩時間に御社、貴団体をスポンサーとしてコーヒブレイクを行います。その際、スポンサーとして御社名、貴団体名を掲示させていただきます。
3. シンポジウム要旨集に半ページの広告を掲載させていただきます。

Third Grade Sponsorship 10万円

1. シンポジウム要旨集に半ページの広告を掲載させていただきます。

6. 2017 年度 第 1 回 SPACC ミニシンポジウムのご案内

2017 年度 先端錯体工学研究会ミニシンポジウム at 名古屋工業大学

日時 : 2017 年 4 月 4 日(火) 13:00-16:00

場所 : 名古屋工業大学 2 号館 2 階 0223 教室

参加費 : 無料 (要事前参加登録、当日可)、懇親会 : 要事前登録、 4,500 円

登録締め切りは 2017 年 3 月 28 日

対象 : 学部生・大学院生・教員・研究者 (学内・学外問わず)

13:00-13:10 開会の挨拶

13:10-14:00 招待講演 1 Andrea Renzetti 博士 (University of Cambridge)

"Polyfunctionalized heterocycles in drug discovery: diversity-oriented synthesis and chemico-physical analysis"

14:00-14:40 招待講演 2 住井裕司先生 (名古屋工業大学, 柴田研究室)

"Synthetic study and SARs of Dictyoceratins, natural products from marine sponge"

(海綿由来天然物 dictyoceratin 類の合成研究と構造活性相関)

14:40-14:50 休憩

14:50-15:10 学生講演 内藤久実 (名古屋工業大学, D2)

"Electrochemical characterization of hydroquinone adsorption onto gold electrode"

(ヒドロキノンの金電極への吸着に対する電気化学的評価)

15:10-15:50 招待講演 3 石井陽祐先生 (名古屋工業大学, 川崎・石井研究室)

"Low-temperature electrochemical Li-ion storage properties of Prussian blue nanocrystals deposited on single-walled carbon nanotubes"

(カーボンナノチューブ表面に析出させたプルシアンブルー結晶の

低温下でのリチウムイオン貯蔵特性)

15:50-16:00 閉会の挨拶

世話人・問い合わせ先

名古屋工業大学大学院 工学研究科 生命・応用化学専攻

前田友梨 (maeda.yuri@nitech.ac.jp)

7. 今後の行事予定一覧表

主催 第1回 SPACC ミニシンポジウム

場所: 名古屋工業大学 2号館 2階 0223 教室
アクセス: JR 鶴舞駅から徒歩 7分
参加費: 無料
懇親会費: 4,500円 (要事前登録, 〆切 3/28)
日時: 2017年4月4日(火) 13時~16時
担当: 前田 友梨 (名古屋工業大学)
お問合せ: maeda.yuri@nitech.ac.jp

★ プログラムは、2017年ニュースレターの4月号(本号)に掲載しております。

主催 The 24th International SPACC Symposium (SPACC24)

場所: オークランド大学 in NZ
会期: 2017年11月22日(水)~25日(土)
担当: Prof. James Wright (オークランド大学)
Prof. Christian Hartinger (オークランド大学)
担当(日本側): 三方 裕司 (奈良女子大学)
お問合せ: mikata@cc.nara-wu.ac.jp

★ 1st Circular は、4月中旬頃に公開予定です。しばらくお待ちください。

協賛

The 7th Annual Meeting of the ALA and Porphyrin Research Society (第7回ポルフィリン-ALA 学会年会)

主催: ポルフィリン-ALA 学会
場所: 宇部工業高等専門学校
日時: 2017年4月15日(土)・16日(日)
アクセス 1: 山口宇部空港から車で約15分
アクセス 2: 新山口駅から車で約40分
Web: <http://porphyrin-ala.com/>
お問合せ: 小倉俊一郎 (東京工業大学)
sogura@bio.titech.ac.jp

★ 宣伝ポスターを、2017年ニュースレターの4月号(本号)の末尾に掲載しております。

ニュースレター担当への問い合わせ方法

ご研究紹介等、SPACC ニュースレターへのご寄稿をしていただける場合や、本会が主催または協賛するシンポジウムの情報は、事務局までお気軽にお知らせください。

SPACC ミニシンポジウム主催者募集

会員の皆様の活発な情報交換のため、ミニシンポジウムを開催していただける会員様を募集しております。研究会からの助成がありますので、ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

主催 SPACC 年会 2017

場所: 大阪市立大学
日時: 未定
担当: 天尾 豊 (大阪市立大学)

★ 詳細は未定です。少々お待ちください。

先端錯体工学研究会事務局
E-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp
東京医療保健大学大学院 松村有里子

The 7th Annual Meeting of the ALA and Porphyrin Research Society

会期：2017年4月15日(土)・16日(日)

会場：宇部工業高等専門学校

図書館棟2階 マルチメディア学習室

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号

山口宇部空港から車で約15分、新山口駅から車で約40分

主催：ポルフィリン-ALA学会

共催：宇部工業高等専門学校



事務局

〒226-8501 横浜市緑区長津田町4259 B47

東京工業大学 生命理工学院 小倉研究室内

TEL : 045 (924) 5845 E-mail : sogura@bio.titech.ac.jp



ALA and Porphyrin Research Society

ポルフィリン - ALA学会

<http://porphyrin-ala.com/>

宇部工業高等専門学校 共催

第7回ポルフィリン-ALA学会年会

信頼・実績 No.1 !
超純水装置 Milli-Q® Integral MT
 マルチアプリケーション対応装置・バリデーション可能



水質保証付き！ Water in a Bottled
分子生物学用水・細胞培養用水
 「水割」プランでお得にまとめて購入可能！



メルク 水割

検索



 **竹田理化工業株式会社**

本社 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-7-5 <http://www.takeda-rika.co.jp>

営業本部 TEL.03(5489)8511
 東京支店 TEL.03(5489)8521
 西東京支店 TEL.042(589)1192
 千葉支店 TEL.043(441)4881
 筑波支店 TEL.029(855)1031

いわき営業所 TEL.0246(85)0650
 鹿島支店 TEL.0299(92)1041
 湘南支店 TEL.0463(25)6891
 横浜支店 TEL.045(642)4341
 三島支店 TEL.055(991)2711

埼玉支店 TEL.048(729)6937
 高崎支店 TEL.027(310)8860
 宇都宮支店 TEL.028(611)3761
 延岡事務所 TEL.0982(29)3602